

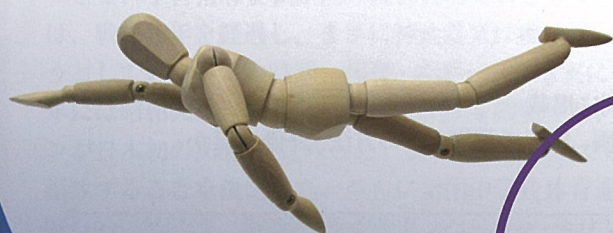
スポーツ教育の幕開けに先鞭をつけた関係者待望の書がついに復刻！
中学・高等学校の体育教師、各競技指導者・コーチ関係者、必携の書

中学校・高等学校 スポーツ指導叢書

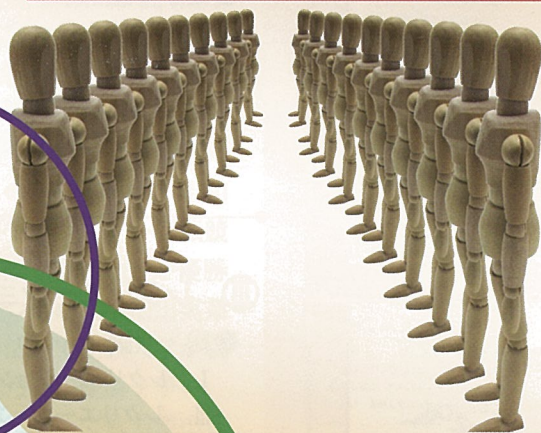
全3巻

解説 石井 隆憲（日本体育大学教授）
協力 民和文庫研究会

Ⅱ 個人スポーツ



Ⅰ チーム・スポーツ



Ⅲ レクリエーション・
スポーツ



●クレス出版●

中学・高等学校 スポーツ指導叢書

■刊行の言葉■

『中学校・高等学校 スポーツ指導叢書』(全3巻) 刊行にあたって

石井 隆憲 (日本体育大学教授)

現在、我が国では、全国どこ地域においても一定の水準の教育を受けることができるシステムが確立されている。このシステムを可能にしたのは、学校教育法などに基づいて、教育課程を編成する「学習指導要領」という基準が示されているからであり、各学校ではこれをバイブルとしてそれぞれの学校の状況にあわせたカリキュラムの編成が行われている。

このような学習内容の基準となる学習指導要領が登場するのは、戦後まもなくのことで、昭和22(1947)年には「学習指導要領一般編」のほか、いくつかの教科の学習指導要領が発表された。学校体育においては、同年「学校体育指導要綱」が公布され、昭和24(1949)年には「学習指導要領小学校体育編(試案)」が出され、昭和26(1951)年には小学校編とほぼ同じ内容の「中学校・高等学校学習指導要領保健体育科体育編(試案)」が公表された。その後、これら体育編は改訂がおこなわれるが、昭和33(1958)年には現在のような大臣告示の形として学習指導要領が発表されることで、国家の方針のもとでの教育の普及と機会均等が担保されるようになった。そして、その後はおよそ10年に一度のペースで改訂が加えられ、今日を迎えている。

さて、学習指導要領が国の教育指導方針として示されるようになる昭和30年代前半は、戦後10年を経過し、まさに神武景気に沸いていた時代で、高度経済成長が始まろうとしていた。この時期、体育・スポーツにも実に様々な動きがあった。昭和30(1955)年には昭和天皇が戦後はじめて大相撲を観覧され、プロ野球ではビクトル・スタルヒンが日本初の300勝を達成した。また東京都議会で第18回夏季オリンピックを東京に招致することを決定した。さらに全国中学校体育連盟の発足もこの年であった。昭和31(1956)年には、第7回コルチナダナンペッツォ・オリンピックで猪谷千春がスキー回転競技で日本人初となる銀メダルを獲得し、また第1回世界柔道選手権で夏井昇吉が優勝した。昭和32(1957)年になると選抜高校野球では王貞治が投手をつとめた早稲田実業が東日本勢として初の優勝を果たし、東京六大学では長嶋茂雄の活躍で立教大学が戦後2度目4年ぶりに優勝している。また大相撲も秋場所でも栃錦と若乃花が優勝を争い、いわゆる「栃若時代」の幕開けとなった。さらにプロレスの興行においても力道山とルーテーズの世界タイトルマッチがおこなわれ日本中を熱狂させた。昭和33(1958)年には大相撲の若乃花勝治が横綱に昇進し、また長嶋茂雄がプロ野球でデビューし、新人王を獲得した。文部省には体育局が設置され、第3回アジア大会も東京で開催された。さらに昭和34(1959)年にはオリンピック開催地に東京が決定したのである。このように昭和30年代前半は、まさに体育・スポーツが国民の生活の中へと浸透していく時代であり、日本社会そのものが終戦後の混乱を乗り越え、活気に満ち溢れた時代であった。

昭和32年から33年にかけて刊行された『中学校・高等学校スポーツ指導叢書』全3巻も、時代の勢いに後押しされた筆者らの新たなスポーツ教育への試みであり、スポーツ教育の幕開けに先鞭をつけた成果でもあった。まだ手探りの段階にあったスポーツ教育に一石を投じただけでなく、現在のスポーツ指導の在り方にもつながる資料として、その価値も高く評価できるのである。

中学校・高等学校 スポーツ指導叢書

加藤橋夫・前川峯雄監修/世界書院/1957年~1958年

① チーム・スポーツ (1957年11月刊行)

●総論

- | | |
|-------------------|------------------------|
| I 学校体育とチーム・スポーツ | II チーム・スポーツの種類 |
| III チーム・スポーツの学習内容 | IV チーム・スポーツの学年別配当とコース制 |
| V チーム・スポーツの指導 | VI 体育の施設 |

●バレーボール

●バスケットボール

●ハンドボール

●サッカー

※以上の各競技につき、次の項目別に掲載

→歴史、特徴、性格、指導目標、指導計画、単元の展開とその方法、評価、校内競技、クラブ活動、用具・施設 ほか

② 個人スポーツ (1958年5月刊行)

●総論

- | | |
|-----------------|--------------|
| I 学校体育と個人スポーツ | II 個人スポーツの種類 |
| III 個人スポーツの学習内容 | IV 個人スポーツの計画 |
| V 個人スポーツの指導 | VI 体育の施設 |

●巧技

●徒手体操

●陸上競技

●水泳

※以上の各競技につき、次の項目別に掲載

→性格、歴史、指導目標、指導計画、単元の展開とその方法、評価 ほか

③ レクリエーション・スポーツ (1958年9月刊行)

●総論

- | | |
|---------------------|---------------------|
| I レクリエーション・スポーツとは | II レクリエーション的種目の種類 |
| III レクリエーション種目の学習内容 | IV 本書で取扱うレクリエーション種目 |
| V レクリエーション・スポーツの計画 | VI レクリエーション種目の指導 |

●テニス

●卓球

●ソフトボール

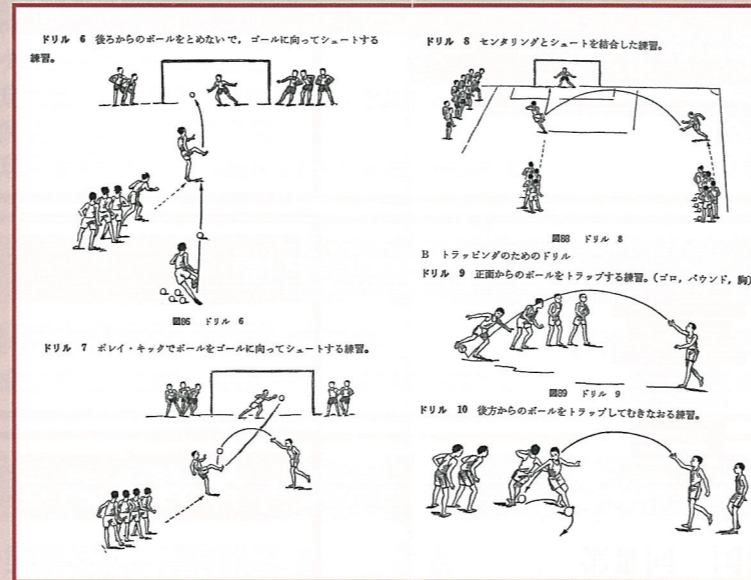
●バドミントン

※以上の各競技につき、次の項目別に掲載

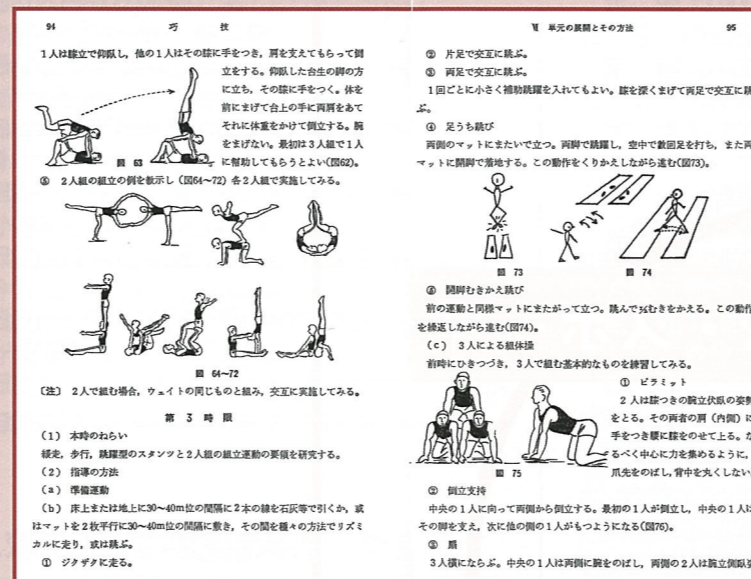
→歴史、特徴、性格、指導目標、指導計画、単元の展開とその方法、評価、校内競技、クラブ活動、施設・用具 ほか

●遊戯

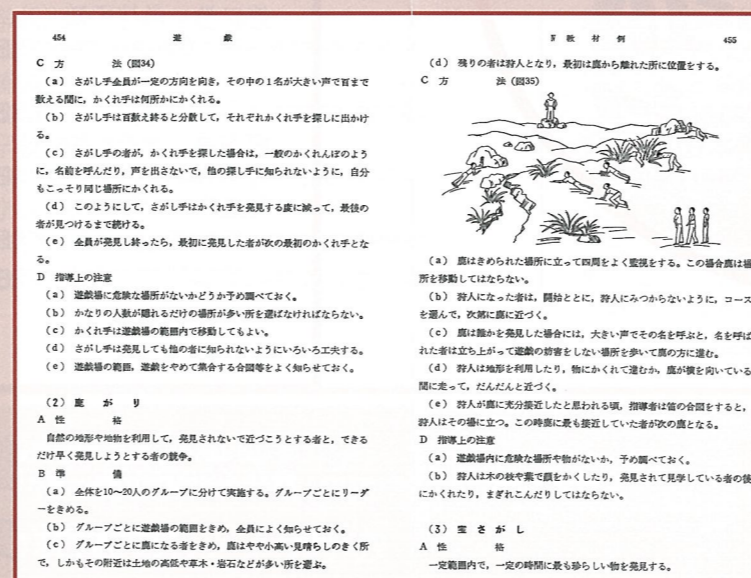
→性格と指導目標、教材例 ほか



I チーム・スポーツ：サッカー「単元の展開とその方法—練習」



II 個人スポーツ：巧技「単元の展開とその方法—組立運動」



III レクリエーション・スポーツ：遊戯「教材例—鹿がり」

■内容の案内■

中学校・高等学校 スポーツ指導叢書 (定価はすべて税別)

第1巻 チーム・スポーツ
定価 17,000円 ISBN 978-4-86670-033-5
第2巻 個人スポーツ
定価 14,000円 ISBN 978-4-86670-034-2

第3巻 レクリエーション・スポーツ
定価 15,000円 ISBN 978-4-86670-035-9
揃定価 46,000円 ISBN 978-4-86670-036-6
A5判/上製函入/クロス装/C3337

岡出美則 編・解説 (定価はすべて税別)

戦後体育学習指導資料集 全7巻
揃定価 92,000円 ISBN 978-4-87733-903-6

戦後体育実践資料集 全4巻
揃定価 93,000円 ISBN 978-4-87733-961-6

体育・スポーツ書集成 シリーズ 民和文庫研究会 編 (定価はすべて税別)

第I回 戦後保健体育指導書 全七巻

尾川 翔大 解説 2017年6月25日刊行

第一巻 学校体育指導要綱
定価 12,000円 ISBN 978-4-87733-976-0
第二巻 新小学校体育
定価 16,000円 ISBN 978-4-87733-977-7
第三巻 新中学校体育
定価 14,000円 ISBN 978-4-87733-978-4
第四巻 小中学校の保健教育
定価 13,500円 ISBN 978-4-87733-979-1
第五巻 小学校体育の学習指導
定価 13,000円 ISBN 978-4-87733-980-7
第六巻 中・高校体育の学習指導
定価 12,000円 ISBN 978-4-87733-981-4
第七巻 学習指導要領—体育科編
定価 13,000円 ISBN 978-4-87733-982-1
揃定価 93,500円 ISBN 978-4-87733-983-8

第II回 戦後学校武道指導書 全五巻

矢野 裕介・坂本 太一 解説 2017年11月25日刊行

第一巻 学校柔道(1)
定価 17,000円 ISBN 978-4-87733-984-5
第二巻 学校柔道(2)、学校弓道
定価 15,500円 ISBN 978-4-87733-985-2
第三巻 撓競技
定価 11,000円 ISBN 978-4-87733-986-9
第四巻 学校剣道(1)
定価 10,000円 ISBN 978-4-87733-987-6
第五巻 学校剣道(2)
定価 13,000円 ISBN 978-4-87733-988-3
揃定価 66,500円 ISBN 978-4-87733-989-0

第III回 国民体力向上関係書 全八巻

尾川 翔大・矢野 裕介 解説 2018年5月25日刊行

第一巻 厚生省の設置と業務
定価 13,000円 ISBN 978-4-86670-012-0
第二巻 国民体力の向上施策(1)
定価 10,000円 ISBN 978-4-86670-013-7
第三巻 国民体力の向上施策(2)
定価 14,800円 ISBN 978-4-86670-014-4
第四巻 国民体力法
定価 12,000円 ISBN 978-4-86670-015-1
第五巻 体力章検定
定価 16,000円 ISBN 978-4-86670-016-8
第六巻 戦時下の体力向上策
定価 18,000円 ISBN 978-4-86670-017-5
第七巻 戦争が学徒体位へ与えた影響
定価 15,000円 ISBN 978-4-86670-018-2
第八巻 外地での体力向上策
定価 10,000円 ISBN 978-4-86670-019-9
揃定価 108,800円 ISBN 978-4-86670-020-5


第IV回 明治期体操学校 体育・体操書 全六巻

神田 俊平 解説 2018年11月25日刊行

第一巻 東京体操伝習所の体育・体操書
定価 8,500円 ISBN 978-4-86670-021-2
第二巻 日本体育会体操学校概要と体育・体操書(1)
定価 15,000円 ISBN 978-4-86670-022-9
第三巻 日本体育会体操学校の体育・体操書(2)
定価 16,000円 ISBN 978-4-86670-023-6
第四巻 日本体育会体操学校の体育・体操書(3)
定価 18,500円 ISBN 978-4-86670-024-3
第五巻 日本体育会体操学校の体育・体操書(4)
定価 16,000円 ISBN 978-4-86670-025-0
第六巻 日本体育会体操学校の体育・体操書(5)
定価 22,000円 ISBN 978-4-86670-026-7
揃定価 96,000円 ISBN 978-4-86670-027-4

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メロナーナ日本橋
☎(03)3808-1821 ㊚(03)3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>

●書店名

 株式会社クレス出版